

2025年12月19日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況の公表について

- 当組合は、「地域とそこに生活する人を大切にし、農業と地域未来に貢献します。」という経営理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成および「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

(注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

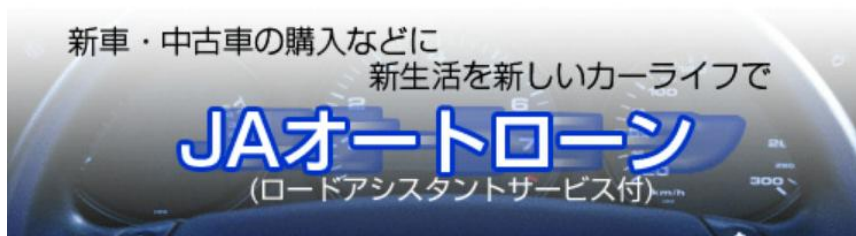
秋田なまはげ農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者の皆さまへの最適な金融商品、共済仕組みの提供

(1) 金融商品

- 貯金・各種ローンをはじめとする組合員・利用者の日々の暮らしに必要な金融商品・サービスを、ライフプラン・ニーズに応じ提供しております。
- なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。



I.取組状況

1 組合員・利用者の皆さまへの最適な金融商品、共済仕組みの提供

(2) 共済仕組み

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの生活を取り巻くさまざまなリスクに備え、「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障を提供し、豊かで安心できる生活の実現に向けて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は2025年10月時点で96.4%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と合同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I .取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供

(2) 共済の事業活動

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、保障設計書等を用いた意向把握・確認を通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、ご家族の方にもご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすく丁寧な説明を心がけ、ご契約の際にはご家族にもご同席いただき、安心してご判断いただけるよう誠意をもって対応しております。
- ご加入いただいている組合員・利用者に対し、定期的な訪問活動による近況確認や加入内容確認、商品の仕組み提案を行うなど、皆さまに寄り添ったアフターフォローを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

3 利益相反の適切な管理

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理規程に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した企画管理部が利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えております。
- ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類例
（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
- ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまから信頼され、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供するため、職員の研修や資格取得を通じて専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、組合員・利用者からいただいた「声（お問い合わせ・ご相談・ご要望・苦情等）」を誠実に受け止め、業務の改善に努めております。